

★ 提案41への賛成意見 ★

退役軍人住居及びホームレス防止2014年公債法令提案41に賛成票を投じて、存在しながら使われていない6億ドルの資金を当ることで、California州の税金増加或いは負債を追加させずに、California州の退役軍人のために廉価な住宅を建設しましょう。

これは財務的に意義がある投票法案であり、何千人ものホームレス退役軍人に家を提供するのに役立ちます。この法令は、California州に増税も負債も新たに発生させるものではありません。実際、この法令は退役軍人を街路から安全で廉価な住宅に移すことで、ヘルスケアと公衆安全において納税者のお金を節約します。

全米のホームレス退役軍人の四分の一以上がCalifornia州にいます。私たちは、このショッキングな状況に対処しなければなりません、同時にCalifornia州が過去数年間に渡り著しい予算問題を抱えていることも知っています。それが、この法案がCalifornia州の負債を増やさずに、その代わりに、以前承認されながら使われていない公債資金をホームレスやホームレスに近い退役軍人のために廉価な住宅を建設することに当てる理由です。私たちは、退役軍人の待遇を改善する必要があることを知っており、California州の税金も負債も増さずに対処することができます。

退役軍人にはそれぞれに特有なニーズがあり、この法令は退役軍人のホームレス状況に総合的に確実に取り組むのに役立ちます。本法令は、ホームレス状態から脱出を試みている退役軍人に暫定的住宅を建設するのに役立ち、その一方で負傷、精神衛生上の問題、或いは兵役が原因の心的外傷後ストレス障害と向き合っている退役軍人に支援住宅も建設します。非営利団体及び地域自治体が優先され、地域の退役軍人に適合する住宅の新築あるは施設の改築が行われます。

提案41に賛成票を投じることで、ホームレス退役軍人に良質で廉価な住宅を利用することができるようになり、ホームレスとなる可能性の高い退役軍人には、必要な職業訓練、カウンセリング、リハビリのサービスを提供することができます。またこの法令はすでに承認されながら使われていない予算を利用するので、負債増額や増税なしで退役軍人を称えることができます。

海外での紛争から撤退するに従い、最大45,000人の若い退役軍人がCalifornia州の家に戻ってきます。彼らは米国のために多大な犠牲を払い、中には職や家のないまま帰国する人もいます。米国に奉仕したこれらの男女を放置する訳にはいかないのです。

そのため、米国在郷軍人会、Vietnam Veterans of California、Veterans Village of San Diego、U.S. VETS、Swords to Plowsharesなどの団体がこの法令を支持してるのです。彼らは、私たちの退役軍人には正しいことを行い、納税者にも同様に処しなければならぬことを承知しています。

提案41に賛成票を投じ、増税やCalifornia州の負債を追加せずに、6億ドルでCalifornia州の退役軍人のための廉価な住宅を建設しましょう。California州の退役軍人の犠牲を称えることは有権者としての義務のみならず、市民としての基本的義務であります。詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。

[www.yesonprop41forvets.org](http://www.yesonprop41forvets.org)

賛成票を投じて私たちの退役軍人が払った犠牲を保護しましょう！

JOHN A. PÉREZ、California州下院議長

LEON E. PANETTA、元米国国防長官

STEPHEN PECK、会長

U.S. VETS

★ 提案41への賛成意見に対する反論 ★

一般的には、退役軍人のケアは連邦政府の責務ですが、連邦政府の資金が不足し不景気から出られないときは、州政府が兵役—志願兵であっても—を終えた人に手を差しのべることは適切なことです。

California州議会の提案41を承認し、有権者が承認した6億ドルの借入れを必要とする退役軍人をより良く支援するプログラムに移行させましょう。

ただし、借入れ金額(公債販売)は全額、利息付きで返済しなければならないことに留意してください。

住宅(及び農場)購入目的のCalVetローンの場合、ローン受取人には利息付の返済が要求されていま

す。これとは対照的に、ホームレス退役軍人のために提案されたプログラムは、退役軍人によっては返済されません(返済不可能なため)。

また、意図する恩恵者に直接与えられない出費が関与するプログラムは、どのようなものであっても、手落ち管理と浪費の可能性が伴います。

将来、退役軍人の中でホームレスを増やさない最良な方法は、地上部隊を世界中に派遣する必要性をなくすことです。外国で「ブーツで地面を踏む」ことは最終手段であるべきです。

GARY WESLEY

★ 提案41への反対意見 ★

2008年度には、California州の有権者は9億ドルの公債法案を承認し、CalVet 農場及び住宅ローンプログラムにさらに資金を提供しましたこのプログラムは1921年に始まりました。これは、400,000人以上のCalifornia州退役軍人が住宅（及び農場）を購入するのに役立ちました。

本提案では、州議会が以前の9億ドルの公債法案のうち6億ドル（三分の二）をホームレス退役軍人の支援を目指す別のプログラムで使用することを承認するよう提案しています。州議会によれば、California州には約19,000人のホームレス退役軍人がおり、さらに増えると予想されています。

有権者により承認されれば、本提案は新規の“Housing for Veterans Finance Committee”が「住宅の安定化を得かつ維持するために、廉価な複合支援住宅、廉価な暫定的住宅、廉価な借家、或いは退役軍人及びその家族が利用できる関連施設等を取得、建

設、改造、及び保護する」ために一般保証公債で上限6億ドルを販売することで資金調達をします。

州議会によれば、2008年に有権者により承認されたCalVetローンプログラムの9億ドルの資金調達（公債販売）は退役軍人の住宅或いは農場購入のためには完全に利用されていません。事実、州議会はローンプログラムのための以前の5億ドルの公債法案下での借り入れ権限は無効にはなっていないと報告しています。

本提案により生じる主な疑問点は：

(1) 借り入れ金額 6億ドルはCalVet 農場及び住宅ローンプログラムから調達すべきか？

(2) 6億ドルを調達（公債販売）して、新規のCalifornia州の退役軍人のプログラムを支持すべきか？

GARY WESLEY

★ 提案41への反対意見に対する反論 ★

提案41である、退役軍人住居及びホームレス防止2014年公債法令は、有権者の投票で以前承認されたが使用されなかった既存の未使用公債資金を転用します。提案41は、増税せず、又、州負債額を増やすこともありません。提案41は、ホームレスまたはホームレスになる可能性が高い退役軍人のために廉価な住宅を建設または改築するために利用する6億ドルを承認します。

これらの資金元である既存プログラムは極度に利用されていません。事実、Los Angeles Times の論説は、この資金を承認した最初の投票法案は、「州の退役軍人のニーズを満足させることでは的外れだった」と述べています。これが提案41が退役軍人には不可欠である理由で、提案は増税なしにCalifornia州の退役軍人たちが必要とする住宅を建設します。

本法令は以前承認されましたが未使用である公債を転用します。これは、California州の全体の承認負債額を追加しないことを意味します。これらの公債を使用すると州には若干の財務経費が発生します

が、社会福祉サービス及びヘルスケアでの節約につながります。L.A. Times紙は、「ホームレス退役軍人数を減少させ、彼らが必要とするリハビリや精神衛生サービスに結び付ければ、公債は州が今日直面しているヘルスケアと社会福祉経費をある程度回避する」と記しています。Times紙はまた、公債はホームレス退役軍人を更に労働力に復帰させると記しています。

これは、California州の退役軍人に正しいことを行う上で財政的に意義のある方法です。提案41に賛成票を投じ、California州退役軍人に彼らが必要とする住宅を提供しましょう。

ED FORD, 州司令官、

Veterans of Foreign Wars、California部門

PETER CAMERON, エグゼクティブディレクター

Veterans Resource Center of America

JOSEPH GARCIA, 州司令官

American Legion、California部門